

Back Number

本論文は

世界経済評論 2020年11/12月号

(2020年11月発行)

掲載の記事です



世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

個の主体性と、全体最適とによる 高い価値創造を目指す社会



NEC（日本電気株式会社）取締役会長

遠藤 信博

僅か 100 nm のコロナウイルスによる感染症が、人間社会に大きな示唆を与えている。

地球上の一点から始まった感染が全地球に蔓延する迄に、たった4ヶ月！ 現代人の時空間的な連鎖密度の濃さに改めて驚く。そして100年前のスペイン風邪の時には無かった情報通信技術（ICT）が、今回大きな役割を果たし、人の集合により価値創造をしていたこれまでの各種活動が、分散状態でも可能である事を示した。分散環境での価値創造は、“個”の主体性が要だ。働き方ではもちろんの事、教育でも、ICTは、個人の主体的意志による価値創造を支える。リカレント教育等の自らを育てる教育に適した方法を提供し、これは全ての教育の在り方に変革を及ぼすだろう。そして、教育と価値創造活動との関係にも自由度を与え、若年での高い価値創造の推進も大いに期待される。“New Normal”の本質は、人間社会の新たな進化を支える事にあり、元に戻らず、積極的に進化を取り込む努力が求められる。

さて、私は、ICTはコンピュータ、ネットワーク、ソフトウェアの三要素から成り、これらがReal Time, Dynamic, Remoteという重要三機能を生むと考えている。Dynamicとは、単体では意味を持たないデータを大量に集めソフトウェア処理する事で、Dynamicallyに大きな価値に変化させる事を意味する。この四半世紀

で、世界最速のコンピュータの処理速度は245万倍に、無線ネットワーク速度も100万倍となった。これにより、一年の計算処理時間を要したタスクは僅か十数秒で解け、CD一枚分のデータ伝送時間は150時間から0.5秒に短縮された。大量データの瞬時処理能力はソフトウェアの進化を促し2017年の“AlphaGo”の出現で、AIが人間社会に有用なソリューションを提供する事が示された。

これまで人間のいた「情報社会」では、類似性のあるデータから得た「情報」で、演繹的に価値を創出してきた。この時、その他のデータは廃棄され、結果「情報社会」は限られたデータ集合から「部分最適」を生む社会と言える。一方、今や人間社会は、大量の価値源泉であるデータを、瞬時に集めAI処理する能力を持つ「データ社会」に移行しつつあり、広範囲からの大量データは帰納法的に「全体最適解」を生む可能性を持つ。全体最適の価値創造には、高次目標“KGI (Key Goal Indicator)”の設定と、このKGIに関わる人間社会での合意形成が必須だ。不十分な合意は価値を大きく下げる為だ。

今、我々には「個の主体性」による価値と、データによる「全体最適解」の価値創造を常に意識して、豊かな人間社会の基盤となる“New Normal”を築く努力が求められている。

（えんどう のぶひろ）